

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年8月27日発行

2026.8.17 ~ 2026.8.23 -第34週-

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病		保 健 所					仙 台 市	宮 城 県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
急性呼吸器 感染症定点	急性呼吸器感染症* ¹	342 68.40	320 32.00	303 60.60	328 65.60	70 17.50	1,313 50.50	2,676 48.65	124,332
	インフルエンザ* ²		11 1.10	1 0.20	3 0.60	8 2.00	43 1.65	66 1.20	17,413
	新型コロナウイルス感染症* ²	3 0.60	14 1.40	1 0.20	1 0.20	2 0.50	19 0.73	40 0.73	3,259
小児科定点	RSウイルス感染症* ²	5 2.50			2 0.67		14 0.93	21 0.68	394
	咽頭結膜熱* ²						3 0.20	3 0.10	254
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎* ²	1 0.50	5 0.83	2 0.67	2 0.67		16 1.07	26 0.84	2,131
	感染性胃腸炎	5 2.50	12 2.00	1 0.33	4 1.33	13 6.50	39 2.60	74 2.39	4,402
	水痘	3 1.50		7 2.33			3 0.20	13 0.42	397
	手足口病	34 17.00	33 5.50	12 4.00	18 6.00	1 0.50	92 6.13	190 6.13	1,797
	伝染性紅斑							0	85
	突発性発しん	2 1.00	3 0.50				1 0.07	6 0.19	266
	ヘルパンギーナ* ²	1 0.50	2 0.33	9 3.00	12 4.00	2 1.00	16 1.07	42 1.35	447
	流行性耳下腺炎							0	23
眼科定点	急性出血性結膜炎							0	2
	流行性角結膜炎		1 0.33				2 0.33	3 0.25	195
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	6
	マイコプラズマ肺炎	2 2.00					1 0.20	3 0.30	79
	無菌性髄膜炎							0	3
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	10	4	3			2		
	川崎病								
	不明発疹症				2		4		

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 5例(前週比較:-1例)
 新型コロナウイルス感染症: 2例(前週比較:-1例)
 * 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
 急性呼吸器感染症患者より
 第34週採取分(4検体)

RSウイルスサブグループA 1件、ヒトメタニューモウイルス 1件、
 エンテロウイルス属1件、陰性 1件

※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
 2類感染症: 結核
 石巻管内 女性1名
 結核(無症状病原体保有者)
 塩釜管内 男性1名
 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症
 塩釜管内 男性1名(O型不明)
 女性1名(第32週、O型不明)
 4類感染症: A型肝炎
 仙台管内 男性1名
 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
 仙台管内 女児1名※
 梅毒
 仙台管内 男性1名(第33週)
 百日咳
 塩釜管内 女性1名
 仙台管内 男性1名
 ※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【手足口病】

県内の定点当たりの患者報告数は、前週の6.68人から6.13人へ減少しましたが、引き続き令和6年度まで運用していた警報継続基準値を上回っています。感染予防には、咳エチケットや日常的な手洗い、おむつ処理後は石鹸で十分に手洗いをする、タオルの共用は避けるなどの対策が重要です。感染対策の徹底に努めましょう。

【水痘】

大崎管内で令和6年度まで運用していた警報発表基準値を、仙南管内で注意報発表基準値を上回りました。水痘は発熱とともにかゆみを伴う発疹(水ぶくれ)が全身に広がるのが特徴です。感染力が強く、感染者の咳・くしゃみによる飛沫や空気感染、さらに水疱内容物との接触によって感染が広がります。感染予防にはワクチン接種が有効です。身近な方が感染した場合は、石鹸と流水による十分な手洗い、タオルの共用を避ける、咳エチケットの徹底などを心がけましょう。

【インフルエンザ】

今週の定点当たりの患者報告数は1.20人で、流行の目安とされる1人を超えています。咳エチケットの徹底、こまめな換気や手洗いなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-3644

